

高原公民館

7月6日(月)

要望します。行政や地域住民の温かな支援が、未来の元氣な町民を増やすことにつながります。

ゆめプラザ・那須

7月8日(水)

協力をお願いします。

問 八幡ツツジ群落周辺のホテル廃屋は、観光客の目にも留まり、景観上大きな問題です。

日光国立公園内であり、町が直接対応しにくい事情は理解しますが、那須の景観保全のため、環境省や県など関係機関へ粘り強く要望・交渉を続け、改善に向けて優先的に取り組む必要があります。

答 不登校支援は学校や社会復帰のみを目的とせず、安心できる居場所づくりが重要です。

町では社会福祉協議会との連携、教育相談室、校内フリースクール、メタバース等で支援しています。民間の居場所づくりも重視し、施設利用や交通手段を含め、具体的な連携を前向きに協議していきたいと思っています。

問 スクールバスについて、距離基準の緩和、危険箇所への年度を待たない迅速な対応を求めます。また、土日の部活動大会時のバス借り上げや、部活動地域移行後も週末の運行継続を強く要望します。

答 スクールバスの距離基準については、国の基準を踏まえつつ、地域の実情に応じた緩和を検討します。また、危険箇所については、年度を待たない迅速な対応に努めます。部活動の地域移行後における週末運行やスクールバスの活用については、保護者アンケートの結果を基に検討し、方向性を示していきたいと考えています。なお、大会時の借り上げバス費用については、町が支援しています。

況把握や井戸設置の推進を求めます。さらに、自然の湧き水を防災だけでなく観光資源として活用し、那須町の魅力向上につなげることを提案します。

答 井戸水を活用した防災やコミュニティ形成の提案は興味深く受け止めます。しかし、公共施設への井戸新設や家庭用シエルター・ビニールハウ

ス設置には維持管理・安全面の課題があります。町は飲料水供給協定やトレーラーハウス避難所を優先しつつ、今後の検討課題とします。



答 観光地内の廃屋は景観や観光イメージに悪影響を与えて

おり、町も課題を認識しています。民間所有や国立公園内の規制、複数省庁との調整など課題は多いものの、所有者への指導・助言を行い、民間活用も含め景観保全と魅力向上に向けた解決策を模索してまいります。

問 クマやサルが出没が相次ぎ、住民の生活不安や観光への影響が懸念されます。特にサルは生活圏に定着し個体数も増加しており、罠設置だけでなく駆除を含む実効性のある対策が必要です。今後の対応方針を伺います。

答 猟友会と連携し、危険性の高い場所への罠の設置や追い払い、悪質個体の駆除を行っています。特効薬となる対策はなく、継続的な取り組みが必要です。捕獲や追い払いとあわせて、観光客による餌付けを防ぐ周知を行うとともに、住民の皆さまには、野菜くずや残飯を放置しないなど、動物を引き寄せないためのご

問 不登校は本人や家庭の問題ではなく社会や制度のひずみなどさまざまな小さな要因が重なって偶然起こるものであり、状況を悪化させないためには、安心できる居場所や多様な支援が重要です。町内の居場所・フリースクールの把握状況を伺うとともに、民間団体との連携、公民館等の利

用料減免、交通手段の支援を

問 大地震等の災害時、避難所へ行きたくても行けない高齢者や障がい者等への対策が重要です。一次避難として家庭内シエルター、二次避難や地域の助け合い拠点として庭先ビニールハウスの活用支援を提案します。また、災害時の命綱となる井戸水・清水の状

掲載した内容は一部ですが、皆さんからいただいたご意見・ご提案は今後のまちづくりを活かしていきます。ご協力いただきありがとうございます。全文はホームページや各支所でご覧いただけます。

▼企画政策課広報広聴係
☎72・6935



ホームページ